

令和 2 年度

桐生市公営企業会計決算審査意見書

桐生市監査委員

桐監発第03・13号
令和3年8月12日

桐生市長 荒木恵司 様

桐生市監査委員 石井謙三
同 谷信良
同 周藤雅彦

令和2年度桐生市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和2年度桐生市公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計）の決算を審査した結果、次のとおり意見を提出します。

目 次

| | |
|-----------------------|----|
| 公 営 企 業 会 計 | 1 |
| 第 1 審査の基準 | 2 |
| 第 2 審査の種類 | 2 |
| 第 3 審査の対象 | 2 |
| 第 4 審査の期間 | 2 |
| 第 5 審査の着眼点 | 2 |
| 第 6 審査の実施内容 | 2 |
| 第 7 審査の結果 | 2 |
| 水 道 事 業 会 計 | 3 |
| 1 決算の概要 | 4 |
| (1) 業務の実績 | 4 |
| (2) 予算の執行状況 | 5 |
| (3) 経営実績 | 6 |
| (4) 剰余金の経理及び処分 | 7 |
| (5) 財政状態 | 8 |
| (6) 未収金等の状況 | 9 |
| (7) 経営分析 | 10 |
| (8) 資金状況 | 11 |
| 2 審査意見 | 12 |
| ○ 別 表 | 13 |
| 1 比較貸借対照表 | 14 |
| 2 比較損益計算書 | 16 |
| 3 年度別資本的収支の状況 | 17 |
| 4 経営・財務分析表 | 18 |
| 5 経営の推移 | 20 |
| 6 費用性質別分類表 | 20 |
| 7 企業債借入先別償還状況 | 20 |
| 8 キャッシュ・フロー計算書 | 21 |
| 下 水 道 事 業 会 計 | 23 |
| 1 決算の概要 | 24 |
| (1) 業務の実績 | 24 |
| (2) 予算の執行状況 | 24 |
| (3) 特例的収入及び支出 | 26 |
| (4) 経営実績 | 26 |
| (5) 財政状態 | 27 |

| | |
|----------------------|----|
| (6) 未収金等の状況 | 28 |
| (7) 経営分析 | 29 |
| (8) 資金状況 | 30 |
| 2 審査意見 | 31 |
| ○ 別表 | 33 |
| 1 比較貸借対照表 | 34 |
| 2 比較損益計算書 | 36 |
| 3 年度別資本的収支の状況 | 37 |
| 4 経営・財務分析表 | 38 |
| 5 経営の推移 | 39 |
| 6 費用性質別分類表 | 39 |
| 7 企業債借入先別償還状況 | 39 |
| 8 キャッシュ・フロー計算書 | 40 |

凡 例

- 1 文中及び表中で用いる百分率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入したものである。
- 2 ポイントとはパーセンテージ間の単純差引数値である。
- 3 文中及び表中の金額のうち千円単位で表示したものは、単位未満で四捨五入したものである。
したがって表中の合計金額と内訳の計が一致しない場合がある。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。

| | |
|-------|--------------------|
| 「0.0」 | 該当数値はあるが、単位未満のもの |
| 「-」 | 該当数値のないもの |
| 「皆増」 | 前年度に数値がなく全額増加したもの |
| 「皆減」 | 当該年度に数値がなく全額減少したもの |

公 營 企 業 会 計

第1 審査の基準

本審査は、桐生市監査基準（令和2年桐生市監査委員告示第1号）に準拠し、監査を実施した。

第2 審査の種類

地方公営企業法第30条第2項の規定による決算審査

第3 審査の対象

令和2年度 桐生市水道事業会計決算

令和2年度 桐生市下水道事業会計決算

第4 審査の期間

令和3年5月31日から同年8月6日まで

第5 審査の着眼点

- (1) 決算書類及び附属書類が関係法令に準拠して作成されているか。
- (2) 決算計数は附属書類の計数と一致しているか。
- (3) 決算書類相互の関連計数は一致しているか。
- (4) 各事業の経営実績及び財政状態が適正に表示されているか。
- (5) 財産評価及び減価償却は適正に行われているか。
- (6) 貯蔵品の経理及び保管は適正か。

第6 審査の実施内容

公営企業会計決算書類及び附属書類の内容を確認するとともに経営分析及び経営状態の推移についても検討した。また、貯蔵品については、たな卸に立ち会い、その他必要に応じて関係職員の説明を求めた。

第7 審査の結果

審査に付された公営企業会計決算書類及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、その執行も妥当であり、計数は令和2年度の経営実績及び同年度末日における財政状態を、適正に表示していると認めた。

水道事業会計

1 決算の概要

(1) 業務の実績

ア 業務の状況

| 区 分 | 単 位 | 令 和 2 年 度 | 令 和 元 年 度 | 比 較 増 減 | |
|------------|----------------|------------|------------|----------|------|
| | | | | 増 減 | 比 率 |
| 年度末給水人口 | 人 | 107,310 | 109,164 | -1,854 | -1.7 |
| 年度末給水件数 | 件 | 52,813 | 53,068 | -255 | -0.5 |
| 年間配水量(A) | m ³ | 15,786,473 | 15,958,897 | -172,424 | -1.1 |
| 年間有収水量(B) | m ³ | 12,724,278 | 12,720,755 | 3,523 | 0.1 |
| 有収率(B)/(A) | % | 80.6 | 79.7 | 0.9 | — |
| 職 員 数 | 人 | 36 | 37 | -1 | -2.7 |

イ 施設の利用状況

(単位：m³・%)

| 区 分 | 一日平均 配水量 (A) | 一日最大 配水量 (B) | 一日配水 能力 (C) | 負 荷 率 (A)/(B) | 施設利用率 (A)/(C) | 最大稼働率 (B)/(C) |
|-----------|--------------------|--------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| 令 和 2 年 度 | 43,251 | 47,229 | 101,900 | 91.6 | 42.4 | 46.3 |
| 令 和 元 年 度 | 43,604 | 48,490 | 101,900 | 89.9 | 42.8 | 47.6 |

前年度に比較し負荷率は 1.7ポイント上昇し、施設利用率は 0.4ポイント低下し、最大稼働率は 1.3ポイント低下した。

負荷率の数値が、大きいほど効率的であると言える。また、1日最大配水量は1月11日に 47,229m³を記録した。

ウ 工事等の状況

(ア) 主な建設改良工事は、梅田浄水場建設をはじめ、元宿浄水場の凝集沈澱池設備更新工事（3号池）、新里支所監視装置更新工事、黒保根地区田沢浄水場のろ過電動弁更新工事等を実施するとともに、各施設の水位計及び流量計更新工事を実施し、水道水の安定供給を図った。

また、市内一円にわたり配水管布設工事 4,383mを実施した。

(イ) メーターについては、故障等 26個、検定有効期限が満了する 7,926個を取り替え、適正な使用水量の把握に努めている。

(2) 予算の執行状況 (消費税及び地方消費税込)

ア 収益的収入及び支出

収入

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 予算額に対する 決算額の増減 | 執 行 率 |
|--------|---------------|---------------|-------------------|-------|
| 水道事業収益 | 2,250,542,000 | 2,354,479,632 | 103,937,632 | 104.6 |
| 営業収益 | 2,023,523,000 | 2,066,260,420 | 42,737,420 | 102.1 |
| 営業外収益 | 227,017,000 | 288,219,212 | 61,202,212 | 127.0 |
| 特別利益 | 2,000 | 0 | -2,000 | 0.0 |

支出

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-------|---------------|---------------|-------------|--------|
| 水道事業費 | 2,020,578,000 | 1,898,035,698 | 122,542,302 | 93.9 |
| 営業費用 | 1,918,882,000 | 1,809,738,996 | 109,143,004 | 94.3 |
| 営業外費用 | 91,495,000 | 85,355,704 | 6,139,296 | 93.3 |
| 特別損失 | 201,000 | 2,940,998 | -2,739,998 | 1463.2 |
| 予備費 | 10,000,000 | 0 | 10,000,000 | 0.0 |

※ 特別損失は、過年度損益修正損、固定資産譲渡損

イ 資本的収入及び支出

収入

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 予算額に対する 決算額の増減 | 執 行 率 |
|--------------|-------------|-------------|-------------------|-------|
| 資本的収入 | 661,198,000 | 654,073,046 | -7,124,954 | 98.9 |
| 企業債 | 604,000,000 | 604,000,000 | 0 | 100.0 |
| 負担金 | 8,866,000 | 11,071,159 | 2,205,159 | 124.9 |
| 出資金 | 20,017,000 | 20,015,887 | -1,113 | 100.0 |
| 固定資産 売却代金 | 1,000 | 0 | -1,000 | 0.0 |
| 工事負担金 | 22,814,000 | 11,836,000 | -10,978,000 | 51.9 |
| 国県補助金 | 5,500,000 | 7,150,000 | 1,650,000 | 130.0 |

支 出

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額 | 継 続 費 通次繰越額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|--------------|---------------|---------------|------------------------------|----------------|-------------|-------|
| 資本的支出 | 3,402,676,630 | 3,083,702,018 | 0 | 3,520,000 | 315,454,612 | 90.6 |
| 建設改良費 | 3,115,265,630 | 2,801,291,445 | 0 | 3,520,000 | 310,454,185 | 89.9 |
| 企業債 償還金 | 281,563,000 | 281,562,943 | 0 | 0 | 57 | 100.0 |
| 国庫補助金 返還金 | 848,000 | 847,630 | 0 | 0 | 370 | 100.0 |
| 予備費 | 5,000,000 | 0 | 0 | 0 | 5,000,000 | 0.0 |

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 2,429,628,972円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 119,160,013円、当年度分損益勘定留保資金 599,362,598円、建設改良積立金 1,711,106,361円で補填されている。

ウ 消費税

今年度における消費税は、消費税及び地方消費税の確定申告に伴う税額計算の結果、103,742,073円の還付となった。

(3) 経営実績（消費税及び地方消費税抜）

ア 収益・費用の状況

(単位：円・%)

| 区 分 | 令 和 2 年 度 | | 令 和 元 年 度 | | 比 較 増 減 | |
|------------------|---------------|-------|---------------|-------|-------------|-------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 比率 |
| 総 収 益 (A) | 2,056,860,915 | 100.0 | 2,052,368,262 | 100.0 | 4,492,653 | 0.2 |
| 営 業 収 益 | 1,879,614,762 | 91.4 | 1,876,946,397 | 91.5 | 2,668,365 | 0.1 |
| 営 業 外 収 益 | 177,246,153 | 8.6 | 175,309,865 | 8.5 | 1,936,288 | 1.1 |
| 特 別 利 益 | 0 | 0.0 | 112,000 | 0.0 | -112,000 | 皆減 |
| 総 費 用 (B) | 1,825,119,042 | 100.0 | 1,775,798,670 | 100.0 | 49,320,372 | 2.8 |
| 営 業 費 用 | 1,736,816,000 | 95.2 | 1,686,080,207 | 95.0 | 50,735,793 | 3.0 |
| 営 業 外 費 用 | 85,368,152 | 4.6 | 89,135,057 | 5.0 | -3,766,905 | -4.2 |
| 特 別 損 失 | 2,934,890 | 0.2 | 583,406 | 0.0 | 2,351,484 | 403.1 |
| 純 利 益 (A)-(B) | 231,741,873 | — | 276,569,592 | — | -44,827,719 | -16.2 |

本年度の総収益は 2,056,860,915円、総費用は 1,825,119,042円で 231,741,873円の純利益となり、前年度と比較すると 44,827,719円 (16.2%) の減少である。

これは、主に退職給付費や修繕費等の営業費用の増加によるものである。

イ 給水収益及び給水原価

(単位：円・%・m³)

| 区 分 | 令 和 2 年 度 | 令 和 元 年 度 | 比 較 増 減 | | |
|--------------------------|--------------------|---------------|-------------|-------|-------|
| | | | 金 額 | 比 率 | |
| 給 水 収 益 (A) | 1,842,802,738 | 1,843,924,272 | -1,121,534 | -0.1 | |
| 給 水 原 価 (B) | 1,755,509,852 | 1,712,488,594 | 43,021,258 | 2.5 | |
| 差 引 額 | 87,292,886 | 131,435,678 | -44,142,792 | -33.6 | |
| 1 m ³ 当 たり | 供 給 単 価 (A)/(C) | 144.83 | 144.95 | -0.12 | -0.1 |
| | 給 水 原 価 (B)/(C) | 137.97 | 134.62 | 3.35 | 2.5 |
| | 給 水 利 益 | 6.86 | 10.33 | -3.47 | -33.6 |
| 年 間 有 収 水 量 (C) | 12,724,278 | 12,720,755 | 3,523 | 0.1 | |

※ 給水収益は、分水料金、修繕に伴う水量分は含まない。

1 m³当たりの供給単価は 144円83銭で前年度に比べ 12銭低くなり、給水原価は137円97銭で、前年度に比べ 3円35銭高くなっている。この結果、給水利益は 6円86銭となり、前年度に比べ 3円47銭低くなっている。

(4) 剰余金の経理及び処分（消費税及び地方消費税抜）

(単位：円・%)

| 科目 | 年 度 | 令 和 2 年 度 | 令 和 元 年 度 | 比 較 増 減 | |
|-----------|-----|---------------|---------------|--------------|------|
| | | | | 金 額 | 比 率 |
| 資 本 剰 余 金 | | 219,702,185 | 219,702,185 | 0 | 0.0 |
| 利 益 剰 余 金 | | 6,516,986,869 | 6,878,057,181 | -361,070,312 | -5.2 |
| 計 | | 6,736,689,054 | 7,097,759,366 | -361,070,312 | -5.1 |

年度末剰余金は 6,736,689,054円で前年度より 361,070,312円 (5.1%) 減少した。

これは、利益剰余金が 361,070,312円 (5.2%) 減少したためである。

資本剰余金は、前年度と同額である。

利益剰余金増加の内訳は、前年度の未処分利益剰余金 869,381,777円を資本金へ 592,812,185円組み入れ、建設改良積立金へ 276,569,592円積み立て、令和2年度の純利益 231,741,873円、その他未処分利益剰余金変動額 1,711,106,361円が当年度未処分利益剰余金に計上されたものである。

当年度未処分利益剰余金 1,942,848,234円は、剰余金処分計算書（案）により、資本金に 1,711,106,361円を組み入れ、建設改良積立金に 231,741,873円を積み立てるよう提案されている。

(5) 財政状態（消費税及び地方消費税抜）

(単位：円・%)

| 区 分 | 令 和 2 年 度 | | 令 和 元 年 度 | | 比 較 増 減 | | |
|-----------|-----------|----------------|-----------|----------------|---------|----------------|-------|
| | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 | 比 率 | |
| 資 産 | 固 定 資 産 | 23,830,574,593 | 85.2 | 21,941,888,920 | 79.7 | 1,888,685,673 | 8.6 |
| | 流 動 資 産 | 4,157,385,161 | 14.8 | 5,588,479,958 | 20.3 | -1,431,094,797 | -25.6 |
| | 計 | 27,987,959,754 | 100.0 | 27,530,368,878 | 100.0 | 457,590,876 | 1.7 |
| 負 債 ・ 資 本 | 固 定 負 債 | 6,947,625,773 | 24.8 | 6,620,629,613 | 24.1 | 326,996,160 | 4.9 |
| | 流 動 負 債 | 473,816,522 | 1.7 | 533,848,007 | 1.9 | -60,031,485 | -11.2 |
| | 繰 延 収 益 | 3,107,220,501 | 11.1 | 3,168,352,060 | 11.5 | -61,131,559 | -1.9 |
| | 資 本 金 | 10,722,607,904 | 38.3 | 10,109,779,832 | 36.7 | 612,828,072 | 6.1 |
| | 剰 余 金 | 6,736,689,054 | 24.1 | 7,097,759,366 | 25.8 | -361,070,312 | -5.1 |
| | 計 | 27,987,959,754 | 100.0 | 27,530,368,878 | 100.0 | 457,590,876 | 1.7 |

ア 固定資産

本年度末における固定資産は 23,830,574,593円で、資産総額の 85.2%を占めており、前年度より 1,888,685,673円 (8.6%) の増加である。

これは、主に梅田浄水場（第1期工事）の完成に伴う資産計上により増加したためである。

イ 流動資産

本年度末における流動資産は 4,157,385,161円で、資産総額の 14.8%に当たり、前年度より 1,431,094,797円 (25.6%) の減少である。

これは、梅田浄水場建設の支払費用が影響し、現金預金が減少したためである。

ウ 固定負債

本年度末における固定負債は 6,947,625,773円で、負債資本合計の 24.8%に当たり、前年度より 326,996,160円 (4.9%) の増加である。

これは、主に梅田浄水場建設の財源に充てた企業債借入額が償還額を上回り、企業債残高が増加したためである。

エ 流動負債

本年度末における流動負債は 473,816,522円で、負債資本合計の 1.7%に当たり、前年度より 60,031,485円 (11.2%) の減少である。

これは、企業債は増加したが、未払金、引当金等が減少したためである。

オ 繰延収益

本年度末における繰延収益は 3,107,220,501円で、負債資本合計の 11.1%を占めており、前年度より 61,131,559円（1.9%）の減少である。

これは、補助金等の長期前受金の収入額よりも、既存の長期前受金に対応する資産の減価償却に伴う収益化額が上回り、長期前受金が減少したためである。

カ 資本金

本年度末における資本金は 10,722,607,904円で、負債資本合計の 38.3%を占めており、前年度より 612,828,072円（6.1%）の増加である。

これは、一般会計からの企業債元金償還に伴う繰入金を出資金として資本金へ計上したものと、前年度剰余金処分額を資本金へ組み入れたためである。

キ 剰余金

本年度末における剰余金は 6,736,689,054円で、負債資本合計の 24.1%を占めており、前年度より 361,070,312円（5.1%）の減少である。

これは、梅田浄水場建設の財源として建設改良積立金を使用したため、利益剰余金が減少したものである。

ク 正味資産額

本年度末における資産総額 27,987,959,754円に対し、負債総額（繰延収益を除く。）は 7,421,442,295円となり、差引正味資産額は 20,566,517,459円で前年度より 190,626,201円（0.9%）の増加である。

資本金、資本剰余金、繰延収益、利益積立金〔長期前受金戻入相当額（過去分）〕、建設改良積立金取りくずし額を差引いた本来の経営活動による正味資産額は 3,055,535,431円である。

（6）未収金等の状況

（単位：円・%）

| 区分 | 調定額 | 収入額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収納率 |
|------|---------------|---------------|---------------------------------|-------------|------|
| 過年度分 | 321,476,340 | 307,639,398 | 不納欠損 修正損 3,900,263 67,692 | 9,868,987 | 95.7 |
| 現年度分 | 3,008,593,287 | 2,682,510,281 | 0 | 326,083,006 | 89.2 |
| 計 | 3,330,069,627 | 2,990,149,679 | 不納欠損 修正損 3,900,263 67,692 | 335,951,993 | 89.8 |

※ 不納欠損額 3,900,263円は、時効によるものである。

(7) 経営分析

ア 安全性

(単位：%)

| 区 分 | 令 和 2 年 度 | 令 和 元 年 度 | 比 較 増 減 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|
| 固 定 資 産 構 成 比 率 | 85.1 | 79.7 | 5.4 |
| 固 定 負 債 構 成 比 率 | 24.8 | 24.0 | 0.8 |
| 自 己 資 本 構 成 比 率 | 73.5 | 74.0 | -0.5 |
| 固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率 | 86.6 | 81.3 | 5.3 |
| 固 定 比 率 | 115.9 | 107.7 | 8.2 |
| 流 動 比 率 | 877.4 | 1,046.8 | -169.4 |
| 当 座 比 率 | 874.6 | 1,044.3 | -169.7 |
| 現 金 比 率 | 804.1 | 984.3 | -180.2 |

長期的な安全性の比率をみると、固定資産構成比率は 85.1となり、前年度より5.4ポイント上昇した。総資産に対する固定資産の割合が大きいほど資本の固定化の傾向にあるとされている。

固定負債構成比率は 24.8%となり、前年度より 0.8ポイント上昇した。総資本に対する固定負債の割合が小さいほど好ましいとされている。

自己資本構成比率は 73.5%となり、前年度より 0.5ポイント低下した。この比率は大きいほど経営の安定性が高いとされている。

固定資産対長期資本比率は 86.6%で、前年度より 5.3ポイント上昇した。この比率は100%以下であることが好ましいとされている。

固定比率は 115.9%で、前年度より 8.2ポイント上昇した。この比率は 100%以下が好ましいとされているが、固定資産の取得を企業債に依存するところが大きいため、必然的に比率は高くなっている。

一方、短期的な安全性の比率は、前年度より流動比率が 169.4ポイント、当座比率が 169.7ポイント、現金比率が 180.2ポイントそれぞれ低下した。これらの数値が大きいほど支払い能力があるとされている。なお、当座比率は流動資産のうち現金預金及び容易に現金化し得る未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。

イ 収益性

(単位：%)

| 区 分 | 令 和 2 年 度 | 令 和 元 年 度 | 比 較 増 減 |
|--------|-----------|-----------|---------|
| 総資本利益率 | 0.8 | 1.0 | -0.2 |
| 総収支比率 | 112.7 | 115.6 | -2.9 |
| 営業収支比率 | 108.2 | 111.3 | -3.1 |

総資本利益率は投下資本が効果的に運用されているかどうかを表すもので、本年度0.8%となり前年度より0.2ポイント低下した。

総収支比率は112.7%となり前年度より2.9ポイント低下した。総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が100%未満の場合には、収益で費用を賄えないこととなり、健全な経営とはいえない。

営業収支比率は108.2%となり前年度より3.1ポイント低下した。営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が高いほど営業利益率が高いことを表し、これが100%未満であることは営業損失を生じていることを意味する。

これらの比率は、企業の収益性を示すもので指数が高いほど良いとされている。

(8) 資金状況 (キャッシュ・フロー計算書)

キャッシュ・フロー計算書は、会計期間における資金の増減、収入と支出 (キャッシュ・フロー) を業務活動、投資活動、財務活動に区分して表示したものである。

当年度は業務活動により762,010,418円、財務活動により342,452,944円の資金を取得しましたが、主に固定資産の取得等の投資活動に2,549,018,923円使用した結果、資金は1,444,555,561円減少し、当年度末における資金の残高は3,810,055,156円となった。

2 審査意見

令和2年度の桐生市の水道事業は、創設90周年という節目の年を迎えるとともに、平成28年度に本体工事に着手し建設を進めてきた梅田浄水場の第1期工事が完了した。

新設された梅田浄水場は、老朽化した上菱浄水場の代替施設というだけでなく、人口減少による水需要の減少を見据え、施設規模の適正化と継続的な安定供給を目指す「桐生市水道事業経営戦略」の要となる施設であり、まずは順調な稼働運営を期待するところである。

また、老朽化が著しい管路網や各配水施設について、優先度を考慮しつつ計画的に更新及び改修等を行い、適切な維持管理に努めたことがうかがえる。

令和2年度の決算における収益的収支をみると、収入については、20億5,686万915円であり、前年度決算と比べ449万2,653円、0.2%増加した。支出については、18億2,511万9,042円であり、前年度決算と比べ4,932万372円、2.8%増加した。差引純利益は、2億3,174万1,873円となり、前年度決算と比べ4,482万7,719円、16.2%の減少となった。

経営状況を表す指標として、短期的な安全性を示す流動比率、当座比率、現金比率、及び弾力性を示す経常収支比率は前年度と比べ低下しており、厳しい財政状況に直面しつつあることが懸念される。さらに、様々な分野に多大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見込めず、前例のない対応に迫られている現状にあるとともに、今後の動向を見通すことが困難な状況にある。この社会情勢下において、安全安心な水道水を安定して供給するという水道事業本来の使命を常に念頭に置き、より一層の事務の効率化を図り、将来を見据えた健全な事業の継続に向けて取り組まれることを要望する。

別 表

別表 1

比較貸借対照表

| 科目 | 令和2年度決算額 | | 令和元年度決算額 | | 比較増減 | |
|---------------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|----------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 比率 |
| <資産の部> | | | | | | |
| 1 固定資産 | 23,830,574,593 | 85.2 | 21,941,888,920 | 79.7 | 1,888,685,673 | 8.6 |
| (1) 有形固定資産 | 20,677,866,338 | 73.9 | 21,928,762,287 | 79.7 | -1,250,895,949 | -5.7 |
| 土地 | 632,888,199 | 2.3 | 631,854,052 | 2.3 | 1,034,147 | 0.2 |
| 立木 | 5,985,341 | 0.0 | 5,985,341 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 建物 | 879,610,067 | 3.1 | 475,824,091 | 1.7 | 403,785,976 | 84.9 |
| 構築物 | 14,859,489,953 | 53.1 | 11,416,916,960 | 41.5 | 3,442,572,993 | 30.2 |
| 機械及び装置 | 4,194,427,021 | 15.0 | 1,659,823,277 | 6.0 | 2,534,603,744 | 152.7 |
| 車両運搬具 | 3,690,102 | 0.0 | 4,651,139 | 0.0 | -961,037 | -20.7 |
| 工具器具及び備品 | 40,035,583 | 0.2 | 39,242,194 | 0.2 | 793,389 | 2.0 |
| リース資産 | 0 | 0.0 | 955,122 | 0.0 | -955,122 | 皆減 |
| 建設仮勘定 | 61,740,072 | 0.2 | 7,693,510,111 | 28.0 | -7,631,770,039 | -99.2 |
| (2) 無形固定資産 | 3,152,708,255 | 11.3 | 13,126,633 | 0.0 | 3,139,581,622 | 23,917.6 |
| 電話加入権 | 805,340 | 0.0 | 805,340 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| ダム使用権 | 3,151,902,915 | 11.3 | 12,321,293 | 0.0 | 3,139,581,622 | 25,480.9 |
| 2 流動資産 | 4,157,385,161 | 14.8 | 5,588,479,958 | 20.3 | -1,431,094,797 | -25.6 |
| (1) 現金預金 | 3,810,055,156 | 13.6 | 5,254,610,717 | 19.1 | -1,444,555,561 | -27.5 |
| (2) 未収金 | 333,947,924 | 1.2 | 320,413,530 | 1.2 | 13,534,394 | 4.2 |
| (3) 貯蔵品 | 9,882,081 | 0.0 | 9,955,711 | 0.0 | -73,630 | -0.7 |
| (4) その他の流動資産 | 3,500,000 | 0.0 | 3,500,000 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 資産合計 | 27,987,959,754 | 100.0 | 27,530,368,878 | 100.0 | 457,590,876 | 1.7 |
| <負債の部> | | | | | | |
| 3 固定負債 | 6,947,625,773 | 24.8 | 6,620,629,613 | 24.1 | 326,996,160 | 4.9 |
| (1) 企業債 | 6,222,864,779 | 22.2 | 5,930,946,500 | 21.6 | 291,918,279 | 4.9 |
| (2) 引当金 | 724,760,994 | 2.6 | 689,683,113 | 2.5 | 35,077,881 | 5.1 |
| 4 流動負債 | 473,816,522 | 1.7 | 533,848,007 | 1.9 | -60,031,485 | -11.2 |
| (1) 企業債 | 312,081,721 | 1.1 | 281,562,943 | 1.0 | 30,518,778 | 10.8 |

(消費税及び地方消費税抜・単位：円・%)

| 科目 | 令和2年度決算額 | | 令和元年度決算額 | | 比較増減 | |
|---------------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 比率 |
| (2) 未払金 | 134,031,937 | 0.5 | 221,213,252 | 0.8 | -87,181,315 | -39.4 |
| (3) 引当金 | 22,608,000 | 0.1 | 25,786,000 | 0.1 | -3,178,000 | -12.3 |
| (4) その他流動負債 | 5,094,864 | 0.0 | 5,285,812 | 0.0 | -190,948 | -3.6 |
| 5 繰延収益 | 3,107,220,501 | 11.1 | 3,168,352,060 | 11.5 | -61,131,559 | -1.9 |
| (1) 長期前受金 | 3,107,220,501 | 11.1 | 3,168,352,060 | 11.5 | -61,131,559 | -1.9 |
| 受贈財産評価額 | 314,486,755 | 1.1 | 329,287,844 | 1.2 | -14,801,089 | -4.5 |
| 工事寄附金 | 318,470 | 0.0 | 339,244 | 0.0 | -20,774 | -6.1 |
| 他会計負担金 | 341,660,071 | 1.2 | 346,813,898 | 1.3 | -5,153,827 | -1.5 |
| 工事負担金 | 627,545,021 | 2.3 | 665,784,258 | 2.4 | -38,239,237 | -5.7 |
| 国県補助金 | 1,823,150,637 | 6.5 | 1,826,067,269 | 6.6 | -2,916,632 | -0.2 |
| その他資本剰余金 | 59,547 | 0.0 | 59,547 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 負債合計 | 10,528,662,796 | 37.6 | 10,322,829,680 | 37.5 | 205,833,116 | 2.0 |
| <資本の部> | | | | | | |
| 6 資本金 | 10,722,607,904 | 38.3 | 10,109,779,832 | 36.7 | 612,828,072 | 6.1 |
| 7 剰余金 | 6,736,689,054 | 24.1 | 7,097,759,366 | 25.8 | -361,070,312 | -5.1 |
| (1) 資本剰余金 | 219,702,185 | 0.8 | 219,702,185 | 0.8 | 0 | 0.0 |
| 受贈財産評価額 | 90,368,842 | 0.3 | 90,368,842 | 0.3 | 0 | 0.0 |
| 工事寄附金 | 1,674,000 | 0.0 | 1,674,000 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 他会計負担金 | 3,084,810 | 0.0 | 3,084,810 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工事負担金 | 59,437,645 | 0.2 | 59,437,645 | 0.2 | 0 | 0.0 |
| 国県補助金 | 48,315,277 | 0.2 | 48,315,277 | 0.2 | 0 | 0.0 |
| その他資本剰余金 | 16,821,611 | 0.1 | 16,821,611 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| (2) 利益剰余金 | 6,516,986,869 | 23.3 | 6,878,057,181 | 25.0 | -361,070,312 | -5.2 |
| 利益積立金 | 1,750,345,077 | 6.3 | 1,750,345,077 | 6.4 | 0 | 0.0 |
| 災害復旧積立金 | 500,000,000 | 1.8 | 500,000,000 | 1.8 | 0 | 0.0 |
| 建設改良積立金 | 2,323,793,558 | 8.3 | 3,758,330,327 | 13.6 | -1,434,536,769 | -38.2 |
| 当年度未処分利益剰余金 | 1,942,848,234 | 6.9 | 869,381,777 | 3.2 | 1,073,466,457 | 123.5 |
| 資本合計 | 17,459,296,958 | 62.4 | 17,207,539,198 | 62.5 | 251,757,760 | 1.5 |
| 負債・資本合計 | 27,987,959,754 | 100.0 | 27,530,368,878 | 100.0 | 457,590,876 | 1.7 |

別表 2

比較損益計算書

(消費税及び地方消費税抜・単位：円・%)

| 科目 | 令和2年度決算額 | | 令和元年度決算額 | | 比較増減 | |
|-------------------|---------------|-------|---------------|-------|-------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 比率 |
| 水道事業収益 | 2,056,860,915 | 100.0 | 2,052,368,262 | 100.0 | 4,492,653 | 0.2 |
| 営業収益 | 1,879,614,762 | 91.4 | 1,876,946,397 | 91.5 | 2,668,365 | 0.1 |
| 給水収益 | 1,842,802,738 | 89.6 | 1,843,924,272 | 89.9 | -1,121,534 | -0.1 |
| 加入金 | 22,190,000 | 1.1 | 22,510,000 | 1.1 | -320,000 | -1.4 |
| その他の営業収益 | 14,622,024 | 0.7 | 10,512,125 | 0.5 | 4,109,899 | 39.1 |
| 営業外収益 | 177,246,153 | 8.6 | 175,309,865 | 8.5 | 1,936,288 | 1.1 |
| 受取利息 | 737,947 | 0.0 | 1,607,826 | 0.1 | -869,879 | -54.1 |
| 他会計補助金 | 4,637,432 | 0.2 | 4,718,982 | 0.2 | -81,550 | -1.7 |
| 長期前受金戻入 | 91,505,238 | 4.5 | 94,964,652 | 4.6 | -3,459,414 | -3.6 |
| 雑収益 | 80,365,536 | 3.9 | 74,018,405 | 3.6 | 6,347,131 | 8.6 |
| 特別利益 | 0 | 0.0 | 112,000 | 0.0 | -112,000 | 皆減 |
| 過年度損益修正益 | 0 | 0.0 | 112,000 | 0.0 | -112,000 | 皆減 |
| 水道事業費 | 1,825,119,042 | 100.0 | 1,775,798,670 | 100.0 | 49,320,372 | 2.8 |
| 営業費用 | 1,736,816,000 | 95.2 | 1,686,080,207 | 95.0 | 50,735,793 | 3.0 |
| 原水及び浄水費 | 446,125,002 | 24.4 | 436,287,868 | 24.6 | 9,837,134 | 2.3 |
| 配水及び給水費 | 254,592,020 | 14.0 | 259,991,017 | 14.6 | -5,398,997 | -2.1 |
| 業務費 | 139,773,546 | 7.7 | 128,953,531 | 7.3 | 10,820,015 | 8.4 |
| 総係費 | 205,654,356 | 11.3 | 136,198,076 | 7.7 | 69,456,280 | 51.0 |
| 減価償却費 | 675,457,669 | 37.0 | 708,394,506 | 39.9 | -32,936,837 | -4.6 |
| 資産減耗費 | 15,213,407 | 0.8 | 16,255,209 | 0.9 | -1,041,802 | -6.4 |
| 営業外費用 | 85,368,152 | 4.6 | 89,135,057 | 5.0 | -3,766,905 | -4.2 |
| 支払利息及び 企業債取扱諸費 | 84,528,737 | 4.6 | 88,330,566 | 5.0 | -3,801,829 | -4.3 |
| 雑支出 | 839,415 | 0.0 | 804,491 | 0.0 | 34,924 | 4.3 |
| 特別損失 | 2,934,890 | 0.2 | 583,406 | 0.0 | 2,351,484 | 403.1 |
| 過年度損益修正損 | 2,899,037 | 0.2 | 575,756 | 0.0 | 2,323,281 | 403.5 |
| 固定資産譲渡損 | 35,853 | 0.0 | 7,650 | 0.0 | 28,203 | 368.7 |
| 当年度純利益 | 231,741,873 | — | 276,569,592 | — | -44,827,719 | -16.2 |

別表 3

年度別資本的収支の状況

(資本的収支：消費税及び地方消費税込・単位：円)

| 科 目 | 令和 2 年度 | 令和 元 年 度 | 平成 30 年 度 |
|--|----------------|----------------|----------------|
| 資 本 的 収 入 | 654,073,046 | 539,696,125 | 744,213,395 |
| 企 業 債 | 604,000,000 | 496,000,000 | 700,000,000 |
| 負 担 金 | 11,071,159 | 15,105,437 | 6,046,500 |
| 出 資 金 | 20,015,887 | 18,437,888 | 13,515,195 |
| 工 事 負 担 金 | 11,836,000 | 7,515,800 | 13,208,700 |
| 国 県 補 助 金 | 7,150,000 | 2,637,000 | 11,443,000 |
| 資 本 的 支 出 | 3,083,702,018 | 2,703,226,776 | 1,862,566,886 |
| 建 設 改 良 費 | 2,801,291,445 | 2,433,841,971 | 1,613,004,400 |
| 梅 田 浄 水 場 建 設 事 業 費 | 2,235,643,459 | 1,826,665,149 | 1,201,803,059 |
| その他の建設改良費 | 555,114,466 | 594,921,171 | 397,973,653 |
| 固 定 資 産 購 入 費 | 9,389,160 | 11,104,516 | 12,079,403 |
| メ ー タ ー 費 | 1,144,360 | 1,151,135 | 1,148,285 |
| 企 業 債 償 還 金 | 281,562,943 | 269,384,805 | 248,366,264 |
| 国 庫 補 助 金 返 還 金 | 847,630 | 0 | 1,196,222 |
| 資 本 的 収 支 差 引 | -2,429,628,972 | -2,163,530,651 | -1,118,353,491 |
| 補 填 資 金 | 2,429,628,972 | 2,163,530,651 | 1,118,353,491 |
| 当年度分消費税及び地方 消費税資本的収支調整額 | 119,160,013 | 103,928,978 | 102,985,315 |
| 過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金 | 0 | 836,750,158 | 1,015,368,176 |
| 当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金 | 599,362,598 | 630,039,330 | 0 |
| 減 債 積 立 金 | 0 | 0 | 0 |
| 建 設 改 良 積 立 金 | 1,711,106,361 | 592,812,185 | 0 |
| 災 害 復 旧 積 立 金 | 0 | 0 | 0 |
| 当 年 度 利 益 剰 余 金 (予 定 建 設 改 良 積 立 金) | 0 | 0 | 0 |

別表 4

経 営 ・ 財 務

| 項 目 | | 算 出 方 法 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 指標 | |
|-------------------------------------|-----------------------------|--|---|---------|---------|----|---|
| 損益に 関する 各 種 比 較 率 | 総資本利益率 (%) | $\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本})/2} \times 100$ | 0.8 | 1.0 | 1.2 | ↑ | |
| | 経営資本営業利益率 (%) | $\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$ | 0.5 | 1.0 | 1.1 | — | |
| | 総収支比率 (%) | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ | 112.7 | 115.6 | 118.2 | ↑ | |
| | 経常収支比率 (%) | $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$ | 112.9 | 115.6 | 118.2 | ↑ | |
| | 営業収支比率 (%) | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$ | 108.2 | 111.3 | 114.1 | ↑ | |
| | 営業収益営業利益率 (%) | $\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$ | 7.6 | 10.2 | 12.4 | — | |
| | 利子負担率 (%) | $\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{借入金} + \text{リース債務}} \times 100$ | 1.3 | 1.4 | 1.5 | ↓ | |
| | 企業債償還元金対減価償却額比率 (%) | $\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$ | 41.7 | 38.0 | 34.7 | ↓ | |
| | 企業債償還元金対料金収入比率 (%) | $\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 15.3 | 14.6 | 13.2 | ↓ | |
| | 企業債利息対料金収入比率 (%) | $\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 4.6 | 4.8 | 4.8 | ↓ | |
| | 企業債元利償還金対料金収入比率 (%) | $\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 19.9 | 19.4 | 17.9 | ↓ | |
| | 平均給与 (千円) | $\frac{\text{職員給与費(3条)}}{\text{損益勘定所属職員数}} \div 1,000$ | 8,876 | 7,174 | 7,584 | — | |
| | 労働分配率 (%) | $\frac{\text{職員給与費(3条)}}{\text{営業収益} - \text{減価償却費}} \times 100$ | 22.9 | 19.6 | 21.3 | ↓ | |
| | 職員給与費対料金収入比率 (%) | $\frac{\text{職員給与費(3条)}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 14.9 | 12.4 | 13.7 | ↓ | |
| | 職員一人当り給水量 (m ³) | $\frac{\text{給水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | 409,754 | 396,173 | 383,922 | — | |
| | 職員一人当り給水人口 (人) | $\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | 3,462 | 3,411 | 3,263 | — | |
| | 職員一人当り営業収益 (千円) | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}} \div 1,000$ | 60,633 | 58,655 | 56,635 | ↑ | |
| | 職員一人当り有形固定資産 (千円) | $\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数} + \text{資本勘定所属職員数}} \div 1,000$ | 574,385 | 592,669 | 523,364 | ↑ | |
| | 1万m ³ 当り | 損益勘定所属職員数 (人) | $\frac{\text{職員数(損益勘定所属)}}{\text{年間総有収水量} \div 365 \text{日} \div 10,000 \text{m}^3}$ | 9 | 9 | 9 | — |
| | 日 | 原・浄・配水施設関係 (人) | $\frac{\text{職員数(原水浄水費・配水給水費所属)}}{\text{年間総有収水量} \div 365 \text{日} \div 10,000 \text{m}^3}$ | 5 | 5 | 6 | — |
| | 検針・集金関係 (人) | $\frac{\text{職員数(業務費所属)}}{\text{年間総有収水量} \div 365 \text{日} \div 10,000 \text{m}^3}$ | 1 | 1 | 1 | — | |

※ 指標の↑は高い方が良く、↓は低い方が良い。

※ 令和2年度の職員数及び職員給与費等の職員に関する数値には、会計年度任用職員分が除かれている。

分 析 表

(消費税及び地方消費税抜)

| 項 目 | | 算 出 方 法 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 指標 |
|--|---------------------|--|----------|----------|----------|----|
| 資 産 及 び 資 本 構 成 比 率 | 固定資産構成比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$ | 85.1 | 79.7 | 74.4 | ↓ |
| | 固定負債構成比率 (%) | $\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$ | 24.8 | 24.0 | 23.6 | ↓ |
| | 自己資本構成比率 (%) | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$ | 73.5 | 74.0 | 73.4 | ↑ |
| | 固定資産対 長期資本比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 86.6 | 81.3 | 76.7 | ↓ |
| | 固定比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 115.9 | 107.7 | 101.4 | ↓ |
| | 流動比率 (%) | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 877.4 | 1,046.8 | 864.7 | ↑ |
| | 当座比率 (%) | $\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 874.6 | 1,044.3 | 863.1 | ↑ |
| | 現金比率 (%) | $\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 804.1 | 984.3 | 829.4 | ↑ |
| | 給水人口一人当り 自己資本 | $\frac{\text{自己資本}}{\text{給水人口}}$ | 191,655 | 186,654 | 181,627 | — |
| | 配水量1㎡当り 自己資本 | $\frac{\text{自己資本}}{\text{配水量}}$ | 1,302.79 | 1,276.77 | 1,242.96 | — |
| 回 転 率 | 自己資本回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$ | 0.09 | 0.09 | 0.10 | ↑ |
| | 経営資本回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{経営資本}}$ | 0.07 | 0.09 | 0.09 | — |
| | 固定資産回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$ | 0.10 | 0.13 | 0.13 | ↑ |
| | 減価償却率 (%) | $\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{立木} - \text{建設仮勘定} - \text{電話加入権} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$ | 2.84 | 4.95 | 4.94 | ↓ |
| | 流動資産回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産})/2}$ | 0.39 | 0.30 | 0.28 | ↑ |
| | 現金預金回転率 (回) | $\frac{\text{当年度支出額}}{(\text{期首現金預金} + \text{期末現金預金})/2}$ | 1.14 | 0.75 | 0.54 | ↑ |
| | 貯蔵品回転率 (回) | $\frac{\text{期首貯蔵品} + \text{当年度購入貯蔵品} + \text{当年度発生貯蔵品} - \text{期末貯蔵品}}{(\text{期首貯蔵品} + \text{期末貯蔵品})/2}$ | 1.90 | 1.91 | 1.99 | ↑ |
| | 未収金回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$ | 9.25 | 9.20 | 9.28 | ↑ |

※ 財務分析において用いた用語は次のとおりである。

- 1 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益
- 2 総資本＝負債・資本合計
- 3 経営資本＝負債・資本合計－（建設仮勘定＋投資資産）
- 4 総収益＝営業収益＋営業外収益＋特別利益
- 5 総費用＝営業費用＋営業外費用＋特別損失
- 6 経常収益＝営業収益＋営業外収益
- 7 経常費用＝営業費用＋営業外費用
- 8 当座比率＝酸性試験比率
- 9 当座資産＝現金預金＋未収金
- 10 支払利息には企業債取扱諸費を含まない。
- 11 未収金回転率に用いた未収金は、分子の営業収益に対応する営業未収金とした。
- 12 固定資産回転率に用いた固定資産は分子の営業収益に対応させるため、営業活動に直接関係のない建設仮勘定を控除して計算した。
- 13 貯蔵品回転率には仮払いによる入出庫を含まない。
- 14 企業債償還元金には借換のための償還金を含まない。
- 15 借入金＝他会計借入金＋一時借入金
- 16 給水量には、修繕中の放水量、分水量、私設消火栓を含まない。
- 17 職員一人当り営業収益＝労働生産性

別表 5

経 営 の 推 移

(単位：円・%)

| 区 分 | 令 和 2 年 度 | 令 和 元 年 度 | 平 成 30 年 度 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 総 収 益 | 2,056,860,915 | 2,052,368,262 | 2,101,667,007 |
| 総 費 用 | 1,825,119,042 | 1,775,798,670 | 1,778,535,788 |
| 純 利 益 | 231,741,873 | 276,569,592 | 323,131,219 |
| 給 水 収 益 等 | 1,842,802,738 | 1,843,924,272 | 1,887,356,296 |
| 給 水 原 価 | 1,755,509,852 | 1,712,488,594 | 1,715,290,902 |
| 給 水 利 益 | 87,292,886 | 131,435,678 | 172,065,394 |
| 料 金 改 定 率 | — | — | — |
| 一 般 会 計 出 資 金 | 20,015,887 | 18,437,888 | 13,515,195 |

別表 6

費 用 性 質 別 分 類 表

(単位：円・%)

| 区 分 | 平 成 30 年 度 | すう勢比 | 令 和 元 年 度 | すう勢比 | 令 和 2 年 度 | すう勢比 |
|---------------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|
| 職 員 給 与 費 | 257,859,731 | 100.0 | 229,561,092 | 89.0 | 292,692,777 | 113.5 |
| 修 繕 費 | 125,938,465 | 100.0 | 127,007,051 | 100.8 | 136,379,249 | 108.3 |
| 動 力 費 | 117,263,263 | 100.0 | 116,770,645 | 99.6 | 101,294,189 | 86.4 |
| 材 料 費 | 1,663,002 | 100.0 | 2,839,317 | 170.7 | 1,988,520 | 119.6 |
| 減 価 償 却 費 | 715,306,171 | 100.0 | 708,394,506 | 99.0 | 675,457,669 | 94.4 |
| 固 定 資 産 除 却 費 | 7,000,485 | 100.0 | 16,255,161 | 232.2 | 15,213,407 | 217.3 |
| 支 払 利 息 等 | 90,342,351 | 100.0 | 88,330,566 | 97.8 | 84,528,737 | 93.6 |
| そ の 他 費 用 | 463,162,320 | 100.0 | 486,640,332 | 105.1 | 517,564,494 | 111.7 |
| 計 | 1,778,535,788 | 100.0 | 1,775,798,670 | 99.8 | 1,825,119,042 | 102.6 |

別表 7

企 業 債 借 入 先 別 償 還 状 況

(単位：円)

| 借入先等 | 令 和 元 年 度 末 未 償 還 残 高 | 令 和 2 年 度 借 入 額 | 令 和 2 年 度 償 還 額 | | | 令 和 2 年 度 未 償 還 残 高 |
|-------------------------|--------------------------|--------------------|-----------------|------------|-------------|------------------------|
| | | | 元 金 | 利 息 | 元 利 合 計 | |
| 財 務 省 | 5,393,432,614 | 604,000,000 | 186,475,715 | 68,791,522 | 255,267,237 | 5,810,956,899 |
| 地 方 公 共 団 体 金 融 機 構 | 755,375,829 | 0 | 89,021,228 | 15,394,264 | 104,415,492 | 666,354,601 |
| 新 田 み どり 農 業 協 同 組 合 | 63,701,000 | 0 | 6,066,000 | 342,951 | 6,408,951 | 57,635,000 |
| 合 計 | 6,212,509,443 | 604,000,000 | 281,562,943 | 84,528,737 | 366,091,680 | 6,534,946,500 |

※ 令和2年度の企業債借入高 604,000,000円については、前年度の繰越額に係る財源充当額 104,000,000円を含む。

別表 8

キャッシュ・フロー計算書（前年度比較表：間接法）

（単位：円 消費税及び地方消費税抜）

| 区 分 | 令和 2 年 度 | 令和 元 年 度 | 増 減 額 |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 当年度純利益 | 231,741,873 | 276,569,592 | △ 44,827,719 |
| 減価償却費 | 675,457,669 | 708,394,506 | △ 32,936,837 |
| 固定資産除却費 | 15,213,407 | 16,255,161 | △ 1,041,754 |
| 固定資産譲渡損 | 35,853 | 7,650 | 28,203 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 35,077,881 | △ 86,162,003 | 121,239,884 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △ 3,178,000 | △ 646,000 | △ 2,532,000 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 941,259 | △ 42,464 | 983,723 |
| 長期前受金戻入額 | △ 91,505,238 | △ 94,964,652 | 3,459,414 |
| 受取利息及び受取配当金 | △ 737,947 | △ 1,607,826 | 869,879 |
| 支払利息 | 84,528,737 | 88,330,566 | △ 3,801,829 |
| 未収金の増減額（△は増加） | △ 14,475,653 | △ 46,542,669 | 32,067,016 |
| 未払金の増減額（△は減少） | △ 87,181,315 | △ 282,805,127 | 195,623,812 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 73,630 | △ 435,211 | 508,841 |
| その他流動負債の増減額（△は減少） | △ 190,948 | △ 7,905,042 | 7,714,094 |
| 小計 | 845,801,208 | 568,446,481 | 277,354,727 |
| 利息及び配当金の受取額 | 737,947 | 1,607,826 | △ 869,879 |
| 利息の支払額 | △ 84,528,737 | △ 88,330,566 | 3,801,829 |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 762,010,418 | 481,723,741 | 280,286,677 |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 2,578,228,452 | △ 2,241,049,535 | △ 337,178,917 |
| 国庫補助金等による収入 | 18,986,000 | 10,152,800 | 8,833,200 |
| 国庫補助金等の返還金 | △ 847,630 | 0 | △ 847,630 |
| 一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入 | 11,071,159 | 15,105,437 | △ 4,034,278 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,549,018,923 | △ 2,215,791,298 | △ 333,227,625 |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入 | 604,000,000 | 496,000,000 | 108,000,000 |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出 | △ 281,562,943 | △ 269,384,805 | △ 12,178,138 |
| 他会計からの出資による収入 | 20,015,887 | 18,437,888 | 1,577,999 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 342,452,944 | 245,053,083 | 97,399,861 |
| 資金増加額（又は減少額） | △ 1,444,555,561 | △ 1,489,014,474 | 44,458,913 |
| 資金期首残高 | 5,254,610,717 | 6,743,625,191 | △ 1,489,014,474 |
| 資金期末残高 | 3,810,055,156 | 5,254,610,717 | △ 1,444,555,561 |

下水道事業会計

当事業については、令和2年度より地方公営企業法（以下、「法」という）を一部適用し、初めての決算となることから、前年対比ができないものについては当年度の数値のみ記載している。

1 決算の概要

(1) 業務の実績

| 区 分 | 単位 | 令和2年度 | 令和元年度 | 比較増減 | 前年対比 (%) |
|-----------------------|----------------|------------|------------|----------|----------|
| 行政区域内人口 (A) | 人 | 107,601 | 109,490 | -1,889 | -1.7 |
| 処理区域内人口 (B) | 人 | 88,739 | 90,089 | -1,350 | -1.5 |
| 処理区域面積 (C) | ha | 2,691.1 | 2,688.2 | 2.9 | 0.1 |
| 水洗便所設置済人口 (D) | 人 | 79,642 | 80,640 | -998 | -1.2 |
| 水洗便所設置済世帯 (E) | 世帯 | 37,007 | 36,921 | 86 | 0.2 |
| 人口普及率 (B) / (A) × 100 | % | 82.5 | 82.3 | 0.2 | |
| 水洗化率 (D) / (B) × 100 | % | 89.7 | 89.5 | 0.2 | |
| 年間汚水処理水量 (F) | m ³ | 15,394,698 | 15,931,749 | -537,051 | -3.4 |
| 年間有収水量 (G) | m ³ | 10,100,705 | 10,251,589 | -150,884 | -1.5 |
| 有収率 (G) / (F) × 100 | % | 65.6 | 64.3 | 1.3 | |
| 職員数 | 人 | (14) 19 | 20 | -1 | -5.0 |

※ 年間汚水処理水量には、流域関連公共下水道を含まない。

※ 年間有収水量には、流域関連公共下水道を含む。

※ ()内は損益勘定職員数。

(2) 予算の執行状況（消費税及び地方消費税込）

ア 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円・%)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 予算額に比べ 決算額の増減 | 執行率 |
|---------|---------------|---------------|------------------|-------|
| 下水道事業収益 | 3,205,818,000 | 2,922,090,900 | -283,727,100 | 91.1 |
| 営業収益 | 2,395,184,000 | 1,947,584,565 | -447,599,435 | 81.3 |
| 営業外収益 | 810,634,000 | 974,506,335 | 163,872,335 | 120.2 |

支 出

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----------|---------------|---------------|-------------|-------|
| 下水道事業費 | 3,173,634,000 | 2,820,221,997 | 353,412,003 | 88.9 |
| 営 業 費 用 | 2,942,111,000 | 2,593,616,718 | 348,494,282 | 88.2 |
| 営 業 外 費 用 | 222,506,000 | 217,883,077 | 4,622,923 | 97.9 |
| 特 別 損 失 | 9,017,000 | 8,722,202 | 294,798 | 96.7 |

※ 特別損失は、貸倒引当金繰入額、賞与引当金繰入額

イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減 | 執 行 率 |
|-------------|-------------|-------------|----------------------------|-------|
| 資本的収入 | 775,607,000 | 767,822,100 | -7,784,900 | 99.0 |
| 企 業 債 | 419,300,000 | 344,900,000 | -74,400,000 | 82.3 |
| 受 益 者 負 担 金 | 40,085,000 | 41,692,600 | 1,607,600 | 104.0 |
| 他 会 計 補 助 金 | 107,799,000 | 32,355,000 | -75,444,000 | 30.0 |
| 国 庫 補 助 金 | 91,223,000 | 34,418,500 | -56,804,500 | 37.7 |
| 県 補 助 金 | 2,700,000 | 2,300,000 | -400,000 | 85.2 |
| 工 事 負 担 金 | 114,500,000 | 42,944,000 | -71,556,000 | 37.5 |
| 出 資 金 | 0 | 269,212,000 | 269,212,000 | — |

支 出

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額 | 継続費 通次 繰越額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|----------------|---------------|---------------|------------------------------|------------------|-------------|-------|
| 資本的支出 | 1,764,331,000 | 1,539,376,642 | 122,232,000 | 0 | 102,722,358 | 87.2 |
| 建設改良費 | 483,064,000 | 258,109,664 | 122,232,000 | 0 | 102,722,336 | 53.4 |
| 企 業 債 償 還 金 | 1,281,267,000 | 1,281,266,978 | 0 | 0 | 22 | 100.0 |

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 771,554,542円は、引継現金49,908,041円、引継未収金 27,678,465円、引継貯蔵品 4,160,730円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 8,891,730円、当年度分損益勘定留保資金 680,915,576円で補填されている。

(3) 特例的収入及び支出

法の一部適用に伴い、令和元年度以前に発生した債権又は債務に係る未収金又は未払金を令和2年度の債権又は債務として整理するため、法施行令第4条第4項の規定に基づき、特例的収入及び支出として処理している。

特例的収入は資産（未収金）として計上され、予算額 104,516,000円に対し、決算額 135,588,301円となっている。一方、特例的支出は負債（未払金）として計上され、予算額 277,830,000円に対し、決算額 107,909,836円、不用額 169,920,164円となっている。

(4) 経営実績

ア 収益・費用の状況（消費税及び地方消費税抜）

(単位：円・%)

| 区 分 | 令 和 2 年 度 | | 令 和 元 年 度 | | 比 較 増 減 | |
|------------------|---------------|-------|-----------|-------|---------|-----|
| | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 | 比 率 |
| 総収益 (A) | 2,784,586,723 | 100.0 | — | — | — | — |
| 営 業 収 益 | 1,810,103,029 | 65.0 | — | — | — | — |
| 営 業 外 収 益 | 974,483,694 | 35.0 | — | — | — | — |
| 特 別 利 益 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| 総費用 (B) | 2,730,630,842 | 100.0 | — | — | — | — |
| 営 業 費 用 | 2,504,025,563 | 91.7 | — | — | — | — |
| 営 業 外 費 用 | 217,883,077 | 8.0 | — | — | — | — |
| 特 別 損 失 | 8,722,202 | 0.3 | — | — | — | — |
| 純利益 (A) - (B) | 53,955,881 | — | — | — | — | — |

営業収益の主なものは下水道使用料 1,375,978,029円で、営業外収益の主なものは長期前受金戻入 769,891,830円である。営業費用の主なものは減価償却費 1,480,115,821円、処理場費 398,242,612円である。営業外費用の主なものは、支払利息及び企業債取扱諸費 217,871,083円で、特別損失の主なものはその他の特別損失 8,722,202円で、賞与引当金繰入額等である。

イ 下水道使用料及び処理原価の状況（消費税及び地方消費税込）

| 区 分 | 単 位 | 令 和 2 年 度 | 令 和 元 年 度 | 比 較 増 減 |
|-------------|-----|---------------|---------------|--------------|
| 下 水 道 使 用 料 | 円 | 1,513,459,565 | 1,176,990,786 | 336,468,779 |
| 汚 水 処 理 費 用 | 円 | 1,194,615,000 | 1,537,738,000 | -343,123,000 |
| 使 用 料 単 価 | 円/㎥ | 149.8 | 114.8 | 35.0 |
| 汚 水 処 理 原 価 | 円/㎥ | 118.3 | 150.0 | -31.7 |

※ 汚水処理費用は、公費負担分を含まない。

(5) 財政状態（消費税及び地方消費税抜）

(単位：円・%)

| 区 分 | 令 和 2 年 度 | | 令 和 元 年 度 | | 比 較 増 減 | | |
|-----------|-----------|----------------|-----------|-------|---------|-----|---|
| | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 | 構 成 比 | 金 額 | 比 率 | |
| 資 産 | 固 定 資 産 | 35,600,628,862 | 99.4 | — | — | — | — |
| | 流 動 資 産 | 232,486,057 | 0.6 | — | — | — | — |
| | 計 | 35,833,114,919 | 100.0 | — | — | — | — |
| 負 債 ・ 資 本 | 固 定 負 債 | 11,374,799,730 | 31.7 | — | — | — | — |
| | 流 動 負 債 | 1,482,090,285 | 4.1 | — | — | — | — |
| | 繰 延 収 益 | 18,066,180,604 | 50.4 | — | — | — | — |
| | 資 本 金 | 4,460,205,676 | 12.5 | — | — | — | — |
| | 剰 余 金 | 449,838,624 | 1.3 | — | — | — | — |
| | 計 | 35,833,114,919 | 100.0 | — | — | — | — |

ア 固定資産

本年度末における固定資産は 35,600,628,862円で、資産総額の 99.4%を占めており、期首と比較すると 1,235,343,201円（3.4%）の減少となっている。

これは主に、減価償却等により構築物、建物及び無形固定資産である施設利用権が減少したためである。

イ 流動資産

本年度末における流動資産は 232,486,057円で、資産総額の 0.6%に当たり、期首と比較すると 42,829,286円（22.6%）の増加となっている。

これは、現金預金、貯蔵品は減少したが、未収金が増加したためである。

ウ 固定負債

本年度末における固定負債は 11,374,799,730円で、負債資本合計の 31.7%に当たり、期首と比較すると 985,267,524円 (8.0%) の減少となっている。

これは、償還期限が1年を超える企業債が減少したためである。

エ 流動負債

本年度末における流動負債は 1,482,090,285円で、負債資本合計の 4.1%に当たり、期首と比較すると 93,095,710円 (6.7%) の増加となっている。

これは主に、償還期限が1年以内の企業債、未払金が増加したためである。

オ 繰延収益

本年度末における繰延収益は 18,066,180,604円で、負債資本合計の 50.4%を占めており、期首と比較すると 623,328,044円 (3.3%) 減少となっている。

これは、建設改良事業等に伴う長期前受金が増加したものの、減価償却に伴う長期前受金収益化累計額がそれを上回って増加したためである。

カ 資本金

本年度末における資本金は 4,460,205,676円で、負債資本合計の 12.5%に当たり、期首と比較すると 269,030,062円 (6.4%) の増加となっている。

これは、主に他会計出資金の受入れによる繰入資本金が増加したためである。

キ 剰余金

本年度末における剰余金は 449,838,624円で負債資本合計の 1.3%に当たり、期首と比較すると 53,955,881円 (13.6%) の増加となっている。

これは、当年度末処分利益剰余金が 53,955,881円増加したためである。

(6) 未収金等の状況

(単位：円・%)

| 区分 | 調定額 | 収入額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収納率 |
|------|---------------|---------------|-------------------------------|-------------|------|
| 過年度分 | 135,588,301 | 122,692,806 | 不納欠損 修正損 1,635,257 0 | 11,260,238 | 90.5 |
| 現年度分 | 3,689,913,000 | 3,500,191,445 | 0 | 189,721,555 | 94.9 |
| 計 | 3,825,501,301 | 3,622,884,251 | 不納欠損 修正損 1,635,257 0 | 200,981,793 | 94.7 |

※ 不能欠損額 1,635,257円は、時効による消滅である。

調定額及び収入額については、法の一部適用により令和3年3月末で打切決算したことが影響している。

使用料については、地方自治法第236条、受益者負担金については、都市計画法第75条第7項に基づき、消滅時効期間を経過したものについて不能欠損処分が行われた。

(7) 経営分析

ア 安全性

(単位：%)

| 区 分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 比較増減 |
|-----------------|-------|-------|------|
| 固定資産構成比率 | 99.4 | — | — |
| 固定負債構成比率 | 31.7 | — | — |
| 自己資本構成比率 | 64.1 | — | — |
| 固定資産対 長期資本比率 | 103.6 | — | — |
| 固 定 比 率 | 154.9 | — | — |
| 流 動 比 率 | 15.7 | — | — |
| 当 座 比 率 | 15.6 | — | — |
| 現 金 比 率 | 2.1 | — | — |

長期的な安全性の比率をみると、固定資産構成比率は 99.4%となった。総資産に占める固定資産の割合が小さいほど良好とされているが、下水道事業においては、施設型の事業であるため割合は大きくなっている。

固定負債構成比率は 31.7%となった。総資本に対する固定負債の割合が小さいほど経営の安定性が高いとされている。

自己資本構成比率は 64.1%となった。この比率は大きいほど経営の健全性が高いとされている。

固定資産対長期資本比率は 103.6%となった。固定資産の調達に自己資本と固定負債の範囲内で行われているかを示す指標で、この比率は 100%以下が好ましいとされており、100%を上回っている場合は、固定資産の一部が流動負債によって調達されていることを示している。

固定比率は 154.9%となった。この比率は企業財政上の原則から 100%以下が好ましいとされているが、公営企業では固定資産の取得を企業債に依存するところが大きいため、必然的に比率は高くなっている。

一方、短期債務に対する支払能力を示す流動比率が 15.7%、当座比率が 15.6%、現金比率が 2.1%となった。これらの数値が大きいほど支払い能力があるとされている。

なお、当座比率は流動負債に対する支払い能力を示す指標で、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化するものによる企業の即時支払能力を判断するものであり、比率は 100%以上であることが好ましいとされている。

現金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示す指標で、比率が高いほど資金の流動性が高いとされている。

イ 収益性

(単位：%)

| 区 分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 比較増減 |
|--------|-------|-------|------|
| 総資本利益率 | 0.2 | — | — |
| 総収支比率 | 102.0 | — | — |
| 営業収支比率 | 72.3 | — | — |

総資本利益率は、0.2%となった。投下資本が効果的に運用されているかどうかを示すもので、比率が高いほど収益率が良いといえる。

総収支比率は 102.0%となった。総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が 100%未満の場合には、収益で費用を賄えないこととなり、健全な経営とはいえない。

営業収支比率は 72.3%となった。営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかだけでなく、事業全体の収支の均衡を示す指標で 100%を超えて高いほど営業利益率が良いといえる。この比率が 100%未満であることは営業損失を生じていることを意味する。

総収支比率が 100%以上にもかかわらず、営業収支比率が 100%を下回っているのは、減価償却費及び長期前受金戻入等の影響によるものである。

(8) 資金状況（キャッシュ・フロー計算書）

キャッシュ・フロー計算書は、会計期間における資金の増減、収入と支出（キャッシュ・フロー）を業務活動、投資活動、財務活動に区分して表示したものである。

当年度は、業務活動によるキャッシュ・フローでは 746,494,345円の資金を取得した。

一方、主に固定資産の取得による支出のため、投資活動によるキャッシュ・フローは 98,208,834円、企業債の償還による支出等のため、財務活動によるキャッシュ・フローは 667,154,978円減少した。

この結果、資金は 18,869,467円減少し、当年度末における資金の残高は 31,038,574円となった。

2 審査意見

令和2年度の桐生市の下水道事業は、将来にわたる健全な経営の継続に向けて、財政状態や経営状況の実態を把握し、経営成績の的確な分析を行い、今後の施策に活かすことを目的として地方公営企業法の一部を適用し企業会計を導入した。

また、受益者負担の原則に従い、汚水処理費用を下水道使用料で賄えるよう、段階的な引き上げを実施するなかで、令和2年4月に3段階目の改定を行ったところである。

令和2年度の決算については、収益的収支をみると収入については、27億8,458万6,723円、支出については、27億3,063万842円であった。収入支出差引額は5,395万5,881円となったが、これは、収入のなかに、雨水処理に要する経費など公費で負担する費用に充てる一般会計からの繰入金を含め算出された額である。企業会計導入後初めての決算であり前年度との比較分析は出来ないが、次年度以降に向けて財務状況を検証し、公営企業の原則である独立採算制を目指して自立した経営体制の構築に努められたい。

桐生市の下水道事業は、昭和42年に供用を開始して以来50年以上を経過したことにより、普及率は令和2年度末で82.5%となり群馬県内12市中第1位である。したがって、衛生環境の向上や浸水被害の防止、河川の水質保全等、下水道事業が本来目的として実施すべき役割の達成度は他市と比較しても高いといえる。

しかしながら、普及率の高さは、同時に、多大な管路網や大規模な施設を保持していることにもなり、老朽化による修繕、更新の多大な費用負担が懸念される場所である。

したがって、今般、企業会計を導入したことを契機に、直面する厳しい経営状況を再認識し、規模の適正化を図るとともに長期的な視点をもって経営戦略に取り組み、将来に向けて堅固な経営基盤を確立し、健全で安定した事業運営に努められることを要望する。

別 表

別表 1

比較貸借対照表

(消費税及び地方消費税抜・単位：円・%)

| 科目 | 年度別 | | 令和2年度決算額 | | 令和2年度期首 | | 年度中増減額 | |
|--------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|--------|----|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 |
| <資産の部> | | | | | | | | |
| 1 固定資産 | 35,600,628,862 | 99.4 | 36,835,972,063 | 99.5 | -1,235,343,201 | -3.4 | | |
| (1) 有形固定資産 | 33,951,263,420 | 94.8 | 35,121,616,687 | 94.9 | -1,170,353,267 | -3.3 | | |
| 土地 | 791,765,534 | 2.2 | 791,765,534 | 2.1 | 0 | 0.0 | | |
| 建物 | 537,491,963 | 1.5 | 585,783,256 | 1.6 | -48,291,293 | -8.2 | | |
| 構築物 | 32,140,568,410 | 89.7 | 33,272,204,157 | 89.9 | -1,131,635,747 | -3.4 | | |
| 機械及び装置 | 458,327,614 | 1.3 | 470,814,460 | 1.3 | -12,486,846 | -2.7 | | |
| 車両運搬具 | 1,049,280 | 0.0 | 1,049,280 | 0.0 | 0 | 0.0 | | |
| 建設仮勘定 | 22,060,619 | 0.1 | 0 | 0.0 | 22,060,619 | 皆増 | | |
| (2) 無形固定資産 | 1,609,365,442 | 4.5 | 1,674,355,376 | 4.5 | -64,989,934 | -3.9 | | |
| 施設利用権 | 1,609,365,442 | 4.5 | 1,674,355,376 | 4.5 | -64,989,934 | -3.9 | | |
| (3) 投資その他の資産 | 40,000,000 | 0.1 | 40,000,000 | 0.1 | 0 | 0.0 | | |
| 長期貸付金 | 4,009,058 | 0.0 | 0 | 0.0 | 4,009,058 | 皆増 | | |
| 基金 | 35,990,942 | 0.1 | 40,000,000 | 0.1 | -4,009,058 | -10.0 | | |
| 2 流動資産 | 232,486,057 | 0.6 | 189,656,771 | 0.5 | 42,829,286 | 22.6 | | |
| (1) 現金預金 | 31,038,574 | 0.1 | 49,908,041 | 0.1 | -18,869,467 | -37.8 | | |
| (2) 未収金 | 200,019,793 | 0.5 | 135,588,000 | 0.4 | 64,431,793 | 47.5 | | |
| (3) 貯蔵品 | 1,427,690 | 0.0 | 4,160,730 | 0.0 | -2,733,040 | -65.7 | | |
| 資産合計 | 35,833,114,919 | 100.0 | 37,025,628,834 | 100.0 | -1,192,513,915 | -3.2 | | |

別表 1

比較貸借対照表

(消費税及び地方消費税抜・単位：円・%)

| 科目 | 年度別 | | 令和2年度期首 | | 年度中増減額 | |
|---------------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|------|
| | 令和2年度決算額 | 構成比 | 令和2年度期首 | 構成比 | 金額 | 比率 |
| <負債の部> | | | | | | |
| 3 固定負債 | 11,374,799,730 | 31.7 | 12,360,067,254 | 33.4 | -985,267,524 | -8.0 |
| (1) 企業債 | 11,374,799,730 | 31.7 | 12,360,067,254 | 33.4 | -985,267,524 | -8.0 |
| 4 流動負債 | 1,482,090,285 | 4.1 | 1,388,994,575 | 3.8 | 93,095,710 | 6.7 |
| (1) 企業債 | 1,330,167,524 | 3.7 | 1,281,266,978 | 3.5 | 48,900,546 | 3.8 |
| (2) 未払金 | 141,854,163 | 0.4 | 107,727,597 | 0.3 | 34,126,566 | 31.7 |
| (3) 引当金 | 10,012,000 | 0.0 | 0 | 0.0 | 10,012,000 | 皆増 |
| (4) その他流動負債 | 56,598 | 0.0 | 0 | 0.0 | 56,598 | 皆増 |
| 5 繰延収益 | 18,066,180,604 | 50.4 | 18,689,508,648 | 50.4 | -623,328,044 | -3.3 |
| (1) 長期前受金 | 18,066,180,604 | 50.4 | 18,689,508,648 | 50.4 | -623,328,044 | -3.3 |
| 負債合計 | 30,923,070,619 | 86.2 | 32,438,570,477 | 87.6 | -1,515,499,858 | -4.7 |
| 6 資本金 | 4,460,205,676 | 12.5 | 4,191,175,614 | 11.3 | 269,030,062 | 6.4 |
| 7 剰余金 | 449,838,624 | 1.3 | 395,882,743 | 1.1 | 53,955,881 | 13.6 |
| (1) 資本剰余金 | 395,882,743 | 1.1 | 395,882,743 | 1.1 | 0 | 0.0 |
| 国庫補助金 | 395,882,743 | 1.1 | 395,882,743 | 1.1 | 0 | 0.0 |
| (2) 利益剰余金 | 53,955,881 | 0.2 | 0 | 0.0 | 53,955,881 | 皆増 |
| 当年度未処分利益剰余金 | 53,955,881 | 0.2 | 0 | 0.0 | 53,955,881 | 皆増 |
| 資本合計 | 4,910,044,300 | 13.8 | 4,587,058,357 | 12.4 | 322,985,943 | 7.0 |
| 負債・資本合計 | 35,833,114,919 | 100.0 | 37,025,628,834 | 100.0 | -1,192,513,915 | -3.2 |

別表 2

比較損益計算書

(消費税及び地方消費税抜・単位：円・%)

| 科目 | 年度別 | 令和2年度決算額 | | 令和元年度決算額 | | 比較増減 | |
|---------|---------------|---------------|-------|----------|-----|------|----|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 比率 |
| 収 益 | 営業収益 | 1,810,103,029 | 65.0 | — | — | — | — |
| | 下水道使用料 | 1,375,978,029 | 49.4 | — | — | — | — |
| | 他会計負担金 | 434,125,000 | 15.6 | — | — | — | — |
| | 受託工事収益 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | その他の営業収益 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 営業外収益 | 974,483,694 | 35.0 | — | — | — | — |
| | 受取利息 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 国庫補助金 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 県補助金 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 受託工事収益 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 他会計補助金 | 204,241,000 | 7.3 | — | — | — | — |
| | 消費税及び地方消費税還付金 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 長期前受金戻入 | 769,891,830 | 27.6 | — | — | — | — |
| | 資本費繰入収益 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 雑収益 | 350,864 | 0.1 | — | — | — | — |
| | 特別利益 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 固定資産売却益 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 過年度損益修正益 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | その他特別利益 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 収益合計 | 2,784,586,723 | 100.0 | — | — | — | — |
| 費 用 | 営業費用 | 2,504,025,563 | 91.7 | — | — | — | — |
| | 管渠費 | 85,462,061 | 3.1 | — | — | — | — |
| | 処理場費 | 398,242,612 | 14.6 | — | — | — | — |
| | 汚水ポンプ場管理費 | 58,916,379 | 2.2 | — | — | — | — |
| | 小規模汚水処理場管理費 | 5,928,253 | 0.2 | — | — | — | — |
| | 周辺対策費 | 11,947,446 | 0.4 | — | — | — | — |
| | 業務費 | 63,781,010 | 2.3 | — | — | — | — |
| | 総係費 | 64,074,429 | 2.3 | — | — | — | — |
| | 流域下水道管理費 | 335,557,552 | 12.4 | — | — | — | — |
| | 排水設備費 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 減価償却費 | 1,480,115,821 | 54.2 | — | — | — | — |
| | 資産減耗費 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 営業外費用 | 217,883,077 | 8.0 | — | — | — | — |
| | 支払利息及び企業債取扱諸費 | 217,871,083 | 8.0 | — | — | — | — |
| | 消費税及び地方消費税 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 雑支出 | 11,994 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 特別損失 | 8,722,202 | 0.3 | — | — | — | — |
| | 固定資産売却損 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 過年度損益修正損 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| | 減損損失 | 0 | 0.0 | — | — | — | — |
| 繰延資産償却 | 0 | 0.0 | — | — | — | — | |
| その他特別損失 | 8,722,202 | 0.3 | — | — | — | — | |
| 費用合計 | 2,730,630,842 | 100.0 | — | — | — | — | |
| 当年度純利益 | 53,955,881 | — | — | — | — | — | |

別表 3

年度別資本的収支の状況

(消費税及び地方消費税込・単位：円)

| 区 分 | 年 度 | 令 和 2 年 度 | 令和元年度 |
|----------------------------|-----|---------------|-------|
| 資本的収入 | | 767,822,100 | — |
| 企 業 債 | | 344,900,000 | — |
| 受 益 者 負 担 金 | | 41,692,600 | — |
| 他 会 計 補 助 金 | | 32,355,000 | — |
| 国 庫 補 助 金 | | 34,418,500 | — |
| 県 補 助 金 | | 2,300,000 | — |
| 工 事 負 担 金 | | 42,944,000 | — |
| 出 資 金 | | 269,212,000 | — |
| 資本的支出 | | 1,539,376,642 | — |
| 建 設 改 良 費 | | 258,109,664 | — |
| 管 渠 建 設 費 | | 164,518,188 | — |
| 雨 水 対 策 費 | | 38,344,205 | — |
| 施 設 改 築 更 新 費 | | 11,030,000 | — |
| 流 域 下 水 道 建 設 費 | | 44,217,271 | — |
| 企 業 債 償 還 金 | | 1,281,266,978 | — |
| 資本的収支差引 | | -771,554,542 | — |
| 補 填 資 金 | | 771,554,542 | — |
| 引 継 現 金 | | 49,908,041 | — |
| 引 継 未 収 金 | | 27,678,465 | — |
| 引 継 貯 蔵 品 | | 4,160,730 | — |
| 当年度分消費税及び地方消費税 資本的収支調整額 | | 8,891,730 | — |
| 当年度分損益勘定留保資金 | | 680,915,576 | — |

別表 4

経営・財務分析表

(消費税及び地方消費税抜)

| 項目 | | 算出方法 | 令和2年度 | 令和元年度 | 指標 |
|----------|------------------------------|---|-------------|-------|----|
| 構成比率 | 固定資産構成比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}} \times 100$ | 99.4 | — | ↓ |
| | 固定負債構成比率 (%) | $\frac{\text{固定負債}}{\text{負債}+\text{資本合計}} \times 100$ | 31.7 | — | ↓ |
| | 自己資本構成比率 (%) | $\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債}+\text{資本合計}} \times 100$ | 64.1 | — | ↑ |
| 財務比率 | 固定資産対長期資本比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$ | 103.6 | — | ↓ |
| | 固定比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$ | 154.9 | — | ↓ |
| | 流動比率 (%) | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 15.7 | — | ↑ |
| | 当座比率 (%) | $\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$ | 15.6 | — | ↑ |
| | 現金比率 (%) | $\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 2.1 | — | ↑ |
| 回転率等 | 自己資本回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})/2}$ | 0.08 | — | ↑ |
| | 固定資産回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})/2}$ | 0.05 | — | ↑ |
| | 減価償却率 (%) | $\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$ | 4.09 | — | ↓ |
| | 未収金回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})/2}$ | 10.76 | — | ↑ |
| 損益に関する比率 | 総資本利益率 (%) | $\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})/2} \times 100$ | 0.2 | — | ↑ |
| | 総収支比率 (%) | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ | 102.0 | — | ↑ |
| | 営業収支比率 (%) | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$ | 72.3 | — | ↑ |
| | 利子負担率 (%) | $\frac{\text{支払利息}+\text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債}+\text{借入金}+\text{リース債務}} \times 100$ | 1.7 | — | ↓ |
| | 企業債償還元金対減価償却額比率 (%) | $\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{減価償却費}-\text{長期前受金戻入額}} \times 100$ | 179.1 | — | ↓ |
| | 平均給与 (千円) | $\frac{\text{職員給与費(3条)}}{\text{損益勘定所属職員数}} \div 1,000$ | 6,661.4 | — | — |
| | 労働分配率 (%) | $\frac{\text{職員給与費(3条)}}{\text{営業収益}-\text{減価償却費}} \times 100$ | 28.3 | — | ↓ |
| | 職員一人当り処理水量 (m ³) | $\frac{\text{年間処理水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | 1,099,621.3 | — | — |
| | 職員一人当り営業収益 (千円) | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}} \div 1,000$ | 129,293.1 | — | ↑ |

※ 指標の↑は高い方が良く、↓は低い方が良い。

※ 財務分析において用いた用語は次のとおりである。

- 自己資本＝資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益
- 総資本＝負債・資本合計
- 総収益＝営業収益＋営業外収益＋特別利益
- 総費用＝営業費用＋営業外費用＋特別損失
- 当座比率＝酸性試験比率
- 借入金＝他会計借入金＋一時借入金
- 支払利息には企業債取扱諸費を含まない。
- 未収金回転率に用いた未収金は、分子の営業収益に対応する営業未収金とした。
- 固定資産回転率に用いた固定資産は分子の営業収益に対応させるため、営業活動に直接関係のない建設仮勘定を控除して計算した
- 企業債償還元金には借換のための償還金を含まない。
- 年間処理水量には流域関連公共下水道分を含む。
- 職員一人当り営業収益＝労働生産性

別表 5

経 営 の 推 移

(消費税及び地方消費税抜 単位：円・%)

| 科 目 \ 年 度 | 令和2年度 | 令和元年度 |
|-------------|---------------|-------|
| 総 収 益 | 2,784,586,723 | — |
| 総 費 用 | 2,730,630,842 | — |
| 純 利 益 | 53,955,881 | — |
| 料 金 改 定 率 | 36.4 | — |
| 他 会 計 出 資 金 | 269,212,000 | — |

別表 6

費 用 性 質 別 分 類 表

(消費税及び地方消費税込 単位：千円・%)

| 科 目 \ 年 度 | 令和2年度 | すう勢比 | 令和元年度 | すう勢比 |
|-----------|-----------|-------|-------|------|
| 職 員 給 与 費 | 80,703 | 100.0 | — | — |
| 修 繕 費 | 125,532 | 100.0 | — | — |
| 動 力 費 | 109,014 | 100.0 | — | — |
| 材 料 費 | 9,641 | 100.0 | — | — |
| 減 価 償 却 費 | 1,480,116 | 100.0 | — | — |
| 資 産 減 耗 費 | 0 | 100.0 | — | — |
| 支 払 利 息 等 | 217,871 | 100.0 | — | — |
| そ の 他 費 用 | 797,345 | 100.0 | — | — |
| 計 | 2,820,222 | 100.0 | — | — |

別表 7

企 業 債 借 入 先 別 償 還 状 況

(単位：円)

| 借入先等 \ 区 分 | 令和元年度 未償還残高 | 令和2年度 借 入 額 | 令和2年度償還額 | | | 令和2年度 未償還残高 |
|-------------|----------------|----------------|---------------|-------------|---------------|----------------|
| | | | 元 金 | 利 息 | 元利合計 | |
| 財務省 | 4,233,335,079 | 0 | 338,333,355 | 85,765,041 | 424,098,396 | 3,895,001,724 |
| 地方公共団体金融機構 | 4,530,821,421 | 272,500,000 | 377,826,029 | 60,183,383 | 438,009,412 | 4,425,495,392 |
| (株)かんぼ生命保険 | 2,803,754,232 | 0 | 248,307,594 | 54,827,492 | 303,135,086 | 2,555,446,638 |
| (株)足利銀行 | 660,907,500 | 72,400,000 | 75,404,000 | 3,963,539 | 79,367,539 | 657,903,500 |
| 桐生信用金庫 | 424,135,000 | 0 | 108,170,000 | 5,333,442 | 113,503,442 | 315,965,000 |
| しのめ信用金庫 | 439,020,000 | 0 | 55,480,000 | 3,596,184 | 59,076,184 | 383,540,000 |
| 新田みどり農業協同組合 | 549,361,000 | 0 | 77,746,000 | 4,202,002 | 81,948,002 | 471,615,000 |
| 合 計 | 13,641,334,232 | 344,900,000 | 1,281,266,978 | 217,871,083 | 1,499,138,061 | 12,704,967,254 |

別表 8

キャッシュ・フロー計算書（前年度比較表：間接法）

（消費税及び地方消費税抜・単位：円）

| 区 分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 増減額 |
|-----------------------------|-----------------|-------|-----|
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 当年度純利益 | 53,955,881 | — | — |
| 減価償却費 | 1,480,115,821 | — | — |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 10,012,000 | — | — |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 962,000 | — | — |
| 長期前受金戻入額 | △ 769,891,830 | — | — |
| 支払利息 | 217,871,083 | — | — |
| 未収金の増減額（△は増加） | △ 65,393,492 | — | — |
| 未払金の増減額（△は減少） | 33,944,327 | — | — |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 2,733,040 | — | — |
| その他流動負債の増減額（△は減少） | 56,598 | — | — |
| 小計 | 964,365,428 | — | — |
| 利息の支払額 | △ 217,871,083 | — | — |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 746,494,345 | — | — |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 204,575,099 | — | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 40,197,521 | — | — |
| 国庫補助金等による収入 | 33,380,456 | — | — |
| 他会計補助金による収入 | 32,355,000 | — | — |
| 受益者負担金による収入 | 37,900,836 | — | — |
| 工事負担金による収入 | 39,040,000 | — | — |
| 受贈財産評価額 | 3,887,494 | — | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 98,208,834 | — | — |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入 | 344,900,000 | — | — |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出 | △ 1,281,266,978 | — | — |
| 他会計からの出資による収入 | 269,212,000 | — | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 667,154,978 | — | — |
| 資金増加額（又は減少額） | △ 18,869,467 | — | — |
| 資金期首残高 | 49,908,041 | — | — |
| 資金期末残高 | 31,038,574 | — | — |